



A Month of Endings and New Beginnings Hannah Hayden

The arrival of August always brings mixed feelings for American students. The U.S. has a very different school calendar than Japan. Our school year starts in August or early September, with the first semester lasting until Christmas break. After a 2- to 3-week holiday to celebrate Christmas and New Year's, students return for the second half from January until late May or early June. Then comes the long summer vacation.

Students always look forward to those 2-3 months of summer with no school. For American kids, summer means time to sleep in late, play outside or go swimming, attend summer camp, or spend time with their friends without worrying about school work. Many families will go on vacation together, or make fun memories together at home. Summer means fun and freedom.

When August arrives, it is always met with mixed emotions. By this point in summer, it is often extremely hot, vacations are finished, and many children start to feel bored at home. Parents get excited as school supplies appear in stores. Children also start to feel the anticipation of a new year of school preparing to start. They begin to wonder about their new classmates, their new teacher, and what kind of things they will experience in their next year of school. So while August brings sadness as the long, fun summer vacation comes to an end and daily routine of school begins again, it also brings an excitement for new beginnings, old and new friends, and a hope for a fun school year ahead.

【ちょっと豆知識】宮地晶子

子どもはうれしくても、親にとっては忙しい夏休み。給食が始まるとほっとします。ちなみに同僚ナタリーの出身地豪州では、市販のプラスチック製の弁当箱が、サンドイッチ、ジュースとスナック用に区切られていて、詰めるのが楽だそう。子どもに詰めさせる親も多いとか。また、学校ではcanteen(キャンティーン)と呼ばれる場所で軽食が買えますが、そこに椅子はなく、外で食べるのが前提で、雨の日は廊下で食べるとか。いろいろな国のお昼ご飯、聞いたら面白そうですね。

終わりと始まりの月 ハンナ・ヘイデン

8月が来ると、アメリカの学生は複雑な気分になります。学校暦が日本とはずいぶん違うから。アメリカでは、新年度が8月か9月初旬に始まるとクリスマス休暇までが前期です。2~3週間のクリスマス・正月休暇のあと、次は5月末か6月初旬まで学校が続きます。そして、再びまた長い夏期休暇が来ます。

学生はいつもこの学校のない2~3ヶ月の夏休みを楽しみにしています。アメリカの子どもにとって、夏イコール寝坊、外遊び、水泳、キャンプ、宿題の心配なしに友達と遊べるということ。家族ぐるみで休暇に出かけることも多く、出かけないまでも家で楽し

い思い出作り。とにかく夏は楽しくて自由です。

そして8月が来ると、またもや複雑な心境に。この頃までには、だいたいすこぶる暑いし、バカンスも終わって、子ども達の多くは家でも退屈し始めます。学用品が店頭に並ぶと、親もそわそわ。子ども達も新年度の準備が進むにつれて、期待がふくらみます。新しいクラスメートや先生、新しい体験。8月は、長く楽しい夏休みが終わって、いつもの学校生活が始まって悲しい反面、新たなスタート、新旧の友達、楽しい1年への希望にわくわくする月です。

(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

エイゴノマナビカタ

第162回

Dear Me Ten Years Ago 「10年前の自分にツイートするなら？」

元宝塚スター・遼河はるひさんは10年前の自分に”You are expecting to marry and become a good wife. Sorry, but your life is great!”「結婚していい奥さんになると思ってるよね。ごめんね。でも人生最高！」とツイート。「世界へ発信！SNS英語術」というNHK教育の番組での一言です。インパクトあります。今やツイッターは政治経済まで動かしますものね。

で、話変わって東川のこと。中学校に7人のアメリカ人大

学生がやってきました。人種的背景はアイルランド、ポーランド、ドイツ、フランス、イングランド、スウェーデン、マルタ島、イタリア、アフリカ系など様々。彼らの10年前といえば、ちょうど中学3年生くらい。そんなわけで彼らに「10年前の自分に伝えたいこと」を現役中学3年生に語ってもらうことにしました。「ドラマ風にやってね。」とお願いしたら、みんな熱い演技力で過去の自分に語りかけてくれました。

いわく”Don't worry about what others think.”「人がどう思うかなんて気にしないで」、”Focusing on the negative doesn't help you.”「悪い方にばかり目を向けてもうまく行かないわよ」、”Don't be afraid to try new things.”「怖がらないで新しいことに挑戦して」、”追真の演技で後悔たっぷりな感じで”Breanna! Study more! Love yourself more!”「ブリアナ！もっと勉強するのよ！自分のことを愛して！」

実感こもりすぎる熱演に生徒たちも大喜びでした。他にも「あとで思い返せるような楽しい思い出をいっぱい作って」と言った学生も。これなんかは大人の方が共感できるかも。「SNS英語術」はNHK教育で金曜日の朝9時半から放送中。再放送は土曜日6時から。再々放送もあります。